

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
英語コミュニケーションⅡ	2	4	Big Dipper English Communication II (数研出版)	スクランブル英文法・語法[4 th Edition]準拠 トレーニング問題集 三訂版

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
b 思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
c 主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価の方法	
各種考査およびテスト、提出物、授業態度などを上の3観点でそれぞれA,B,Cで評価し、最終的に5段階評価をします。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	13	Lesson 1 Why Don't You Come to School in Pajamas?	○	○	○	10	13	Lesson 7 Learning from Nature	○	○	○
5	13	Lesson 2 Is Seeing Believing?	○	○	○	11	13	後期中間考査 Lesson 8 The Wisdom of Preserving Food	○	○	○
6	13	Lesson 3 Do You Get Enough Sleep?	○	○	○	12	12	Lesson 9 The Sharing Economy: Something for Everyone?	○	○	○
7	13	Lesson 4 Do You Want to Speak English like a Native Speaker?	○	○	○	1	12	Lesson 10 Sand and Concrete: A Basic of Our Life	○	○	○
8	13	Lesson 5 Universal Design: Convenient for All	○	○	○	2		後期期末考査			
		前期期末考査				3	12	Power Up Section	○	○	○
9	13	Lesson 6 Wakamiya Masako: The World's Oldest Game App Developer	○	○	○						
											計 140

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・原則として考査の点数を基にした習熟度別少人数授業を行います。
- ・家庭での予習および復習、課題への取り組みが重要となる科目です。継続的な学習をしていきましょう。
- ・実用英語技能検定など、多くの検定があります。積極的な受検をしましょう。
- ・タブレット端末の使用は、各クラスの教員の指示に従ってください。また、必要に応じてアプリケーションの利用もあります。